


平成 18 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名  日本タンゲステン株式会社
代表者名 取締役社長 吉田 省三
(コード番号 6998 東証 2 部 福証)
問合せ先 総務人事部長 増田 秀雄
(TEL. 092-415-5500)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 18 日の平成 18 年 3 月期決算短信(連結)の発表時に公表した平成 19 年 3 月期中間期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(1)平成 19 年 3 月期中間期連結業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想(A)	6,150	510	260
今 回 修 正 予 想(B)	6,380	630	400
増 減 額(B-A)	230	120	140
増 減 率(%)	3.7	23.5	53.8
(ご参考) 前中間期実績(平成 17 年 9 月期)	6,168	484	283

(2)平成 19 年 3 月期中間期個別業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想(A)	5,900	470	250
今 回 修 正 予 想(B)	6,120	580	340
増 減 額(B-A)	220	110	90
増 減 率(%)	3.7	23.4	36.0
(ご参考) 前中間期実績(平成 17 年 9 月期)	5,917	470	243

(3)修正の理由

当中間期の業績は、主要製品である磁気ヘッド基板、超精密加工品等が前年同期に比べ若干減少したものの、重電・ブレーカー用接点、自動車関連の抵抗溶接用電極、OA機器用タングステンワイヤー製品などの電気電子関連製品や機械関連製品の液晶関連製造用部品等が好調に推移いたしました。損益については、原材料価格の高騰は依然続いておりますが売上高の増加等により、前回公表時の業績予想を上回る見通しとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては現在策定中であり、改めて公表いたします。

※上記業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上